

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

月次運用レポート

2012年6月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

| 基本 配分 | 資産 比率 | 運用方針 | 利 用 す る 投 資 値 投資信託名 | 新 託 委託会社 | | |
|----------|----------|--|--|------------------------------|--|--|
| | | | アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 | | | |
| 株式 | | (では、「中長期での資産の安定的な成長をめざします。外資建資産にプロ では、原則として為替へッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動 向に応じた資産配分を行います。 | アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 | | | |
| かまし | | | | アクサ·インベストメント· マネージャーズ株式会社 | | |
| | | | アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 | | | |
| 債券 | 50% | 5.) | アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募 | | | |

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しない ことがあります。

変額保険

特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに - 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。 情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2012年6月

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇し、TOPIX(東証株価指数)は前月末比+7.03%の770.08ポイントで終了しました。

月前半は、5月の米雇用統計が事前予想を大幅に下回ったことなどから主要国の景気減速懸念が高まり、日本株式市場は下落して始まりました。その後、各国の政策当局への期待などから上昇する場面もありましたが、ギリシャの先行き不透明感などから上値の重い展開となりました。しかし月後半には、ギリシャの再選挙で緊縮財政賛成派が勝利し、同国のユーロ離脱に対する)度な懸念が後退したことなどから上昇しました。その後も、EU(欧州連合)首脳会議でESM(欧州安定メカニズム)によるスペインの銀行への直接資本注入などが合意されたことなどが好感され、堅調に推移しました。

業種別(東証33業種)では、金融緩和への期待から「不動産業」(前月末比+16.26%)が最も上昇した一方、原油価格の下落を受け「鉱業」(同1.50%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、月初に発表された5月の米雇用統計が事前予想を大幅に下回ったことなどから、下落して始まりました。その後、国内外の景気の先行き不透明感の高まりによる金融緩和への期待などから上昇に転じました。月後半は、ギリシャの再選挙で緊縮財政賛成派が勝利しユーロ離脱懸念が後退したことなどから上昇しましたが、スペインの財政と銀行システムへの懸念などから下落に転じました。しかしその後、EU首脳会議において金融機関への直接資本注入などが合意されたことなどが好感され、NYダウは、前月末比+3.93%上昇の12,880.09ドルで終了しました。

欧州株式市場も、米国同様の動きとなりました。スペインの金融不安の拡大などで一時下落したものの、G7(主要7カ国財務相・中央銀行総裁会議)の電話会議にて各国の協力関係の継続を再確認したことなどから、上昇に転じました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比+4.70%上昇、仏CAC40が同+5.95%上昇、独DAXが同+2.42%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、もみ合いでの推移が続きました。10年国債の入札結果が低調となり、10年国債利回りは上昇に転じる(価格は下落)場面がありましたが、スペイン大手銀行の資本不足に対する警戒やギリシャの先行き不透明感など世界経済の先行き不透明感が相場を下支えしました。新発10年国債利回りは0.8%台前半を中心に推移し、前月末比と同水準の0.83%となりました(前月末は0.83%)。

日銀は、政策金利を据え置き、年0~0.1%程度を維持しました。 無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、月初に発表された5月の雇用統計が事前予想を大幅に下回ったことや中国の景況感指標が悪化したことなどを受け、金利は低下(価格は上昇)して始まりました。しかしその後、ギリシャの再選挙結果を受けて同国のユーロ離脱懸念が後退したことや、スペインの銀行支援報道を受けて、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから上昇(価格は下落)し、米10年国債利回りは、月末は1.645%となりました(前月末は1.558%)。

欧州債券市場は、スペイン大手銀行の資本不足などから金利は低下(価格は上昇)して始まりました。しかしその後、ユーロ圏各国当局の政策対応への期待感やギリシャの再選挙結果などから上昇(価格は下落)に転じ、独10年国債利回りは、月末には1.583%となりました(前月末は1.20%)。

国債利回りは、月末には1.583%となりました(前月末は1.20%)。 FRB(米連邦準備理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年1.00%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、月初は軟調な米雇用統計を受けて円高が進行したものの、その後は株価が堅調に推移したことに加え、月下旬のFOMC(米連邦公開市場委員会)で追加金融緩和が見送られたこともあり、円安での推移となりました。月末には、円は対ドルで前月末比0円39銭(0.49%)円安ドル高の1ドル=79円31銭となりました。

ユーロ/円相場は、ギリシャの再選挙結果を受けて同国のユーロ離脱懸念が後退したことや、スペインの銀行支援報道を受けて、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、円安ユーロ高が進行しました。円は対ユーロで前月末比1円12銭(1.15%)円安ユーロ高の1ユーロ=98円74銭となりました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

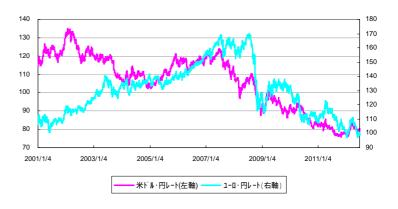


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

変額保険

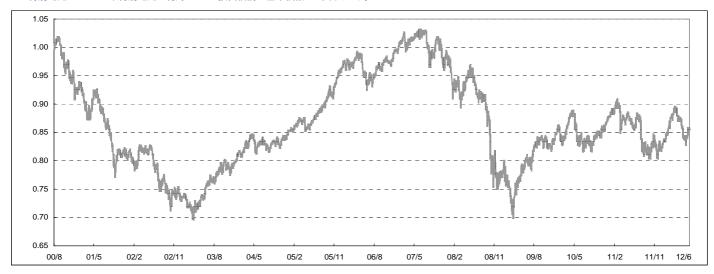
特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2012年6月 末日現在]

特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



| | 2012年6月末 | 2012年5月末 | 2012年4月末 | 2012年3月末 | 2012年2月末 | 2012年1月末 |
|--------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| INDEX | 0.857 | 0.840 | 0.875 | 0.889 | 0.879 | 0.845 |
| | 過去1ヵ月 | 過去3ヵ月 | 過去6ヵ月 | 過去1年 | 過去3年 | 設定来 |
| 騰落率(%) | 2.03 | 3.61 | 3.30 | 1.66 | 6.51 | 14.31 |

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

| 項目 | 金額(千円) | 比率(%) |
|-----------------------------|------------|-------|
| 現預金・その他 | 356,271 | 1.1 |
| その他有価証券 | 32,889,151 | 98.9 |
| アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) | 3,433,891 | 10.3 |
| アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) | 5,110,077 | 15.4 |
| アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) | 4,984,562 | 15.0 |
| アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) | 3,339,125 | 10.0 |
| アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) | 16,021,495 | 48.2 |
| 合計 | 33,245,422 | 100.0 |

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。 資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)

今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

カスタマーサービスセンター お問合せ先:

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- 資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は -切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2012年6月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が 高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の騰落率

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| 投資信託 | 6.81% | 10.06% | 6.60% | 7.67% | 13.83% | 35.57% |
| BM | 7.03% | 9.86% | 5.69% | 9.32% | 17.17% | 48.06% |
| 差 | 0.22% | 0.20% | 0.91% | 1.65% | 3.35% | 12.49% |

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

| | 八 1主が 1円がんしし 1 | |
|----|----------------|---------|
| | 業種 | マザーファンド |
| 1 | 電気機器 | 11.76% |
| 2 | 輸送用機器 | 11.21% |
| 3 | 銀行業 | 9.52% |
| 4 | 卸売業 | 8.54% |
| 5 | 情報·通信業 | 6.41% |
| 6 | 小売業 | 5.41% |
| 7 | 化学 | 4.97% |
| 8 | 陸運業 | 4.69% |
| 9 | その他業種 | 36.53% |
| 10 | 現金等 | 0.97% |
| | 合計 | 100.00% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)*1です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

| | 市場 | マザーファンド | | | | |
|---|------------|---------|--|--|--|--|
| 1 | 東京証券取引所第一部 | 95.49% | | | | |
| 2 | 大阪証券取引所第一部 | 3.54% | | | | |
| 3 | 現金等 | 0.97% | | | | |
| | 合計 | 100.00% | | | | |
| | | | | | | |

組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 業種 | マザーファンド |
|----|-------------------|--------|---------|
| 1 | トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.87% |
| 2 | 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 3.21% |
| 3 | 本田技研工業 | 輸送用機器 | 2.59% |
| 4 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 2.10% |
| 5 | 日本電信電話 | 情報·通信業 | 1.91% |
| 6 | キヤノン | 電気機器 | 1.65% |
| 7 | 三菱商事 | 卸売業 | 1.41% |
| 8 | みずほフィナンシャルグループ | 銀行業 | 1.37% |
| 9 | 日立製作所 | 電気機器 | 1.20% |
| 10 | 武田薬品工業 | 医薬品 | 1.11% |
| | 合計 | 20.42% | |
| | 組入銘柄数 | 282銘柄 | |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

<u>当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針</u>

投資信託の騰落率は前月末比 + 6 . 8 1%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比 + 7 . 0 3%となりました。 当月の日本株式市場は、市場連動性が高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落したITハードウエアおよび機械を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した石油を多めに保有していたことや上昇した不動産を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇したイー・アクセス(9427)およびS サワホーム(1722)を多めに保有していたことはブラスに寄与しましたが、下落したゲオホールディングス(2681)およびリコーリース(8566)を多めに保有していたことはマイ ナスに寄与しました

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポー トフォリオをペンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にペンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、 独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳 細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

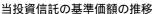
お問合せ先: カスタマーサービスセンター

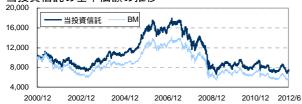
Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- 資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は -切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況 [2012年6月 末日現在]





投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が 高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の騰落率

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| 投資信託 | 6.18% | 11.15% | 4.24% | 8.96% | 13.94% | 24.79% |
| BM | 7.03% | 9.86% | 5.69% | 9.32% | 17.17% | 40.27% |
| 差 | 0.85% | 1.29% | 1.45% | 0.36% | 3.24% | 15.48% |

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

| _ | | |
|----|--------|---------|
| | 業種 | マザーファンド |
| 1 | 銀行業 | 12.46% |
| 2 | 卸売業 | 10.32% |
| 3 | 輸送用機器 | 9.51% |
| 4 | 情報·通信業 | 9.02% |
| 5 | 電気機器 | 8.60% |
| 6 | 陸運業 | 7.94% |
| 7 | 化学 | 7.01% |
| 8 | 小売業 | 6.55% |
| 9 | その他業種 | 27.59% |
| 10 | 現金等 | 1.02% |
| | 合計 | 100.00% |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。 また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)^{*1}です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

| | 15-2010111400000 | | | | | |
|---|------------------|---------|--|--|--|--|
| | 市場 | マザーファンド | | | | |
| 1 | 東京証券取引所第一部 | 96.52% | | | | |
| 2 | 大阪証券取引所第一部 | 2.22% | | | | |
| 3 | 東京証券取引所第二部 | 0.16% | | | | |
| 4 | 大阪証券取引所第二部 | 0.04% | | | | |
| 5 | 名古屋証券取引所第二部 | 0.01% | | | | |
| 6 | ジャスダック証券取引所 | 0.01% | | | | |
| 7 | 名古屋証券取引所第一部 | 0.01% | | | | |
| 8 | 現金等 | 1.02% | | | | |
| | 合計 | 100.00% | | | | |

組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 業種 | マザーファンド | | |
|----|-------------------|--------|---------|--|--|
| 1 | 三菱UFJフィナンシャル·グループ | 銀行業 | 4.37% | | |
| 2 | 三井住友フィナンシャルグループ | 銀行業 | 3.67% | | |
| 3 | 日本電信電話 | 情報·通信業 | 3.37% | | |
| 4 | 日立製作所 | 電気機器 | 2.93% | | |
| 5 | 東日本旅客鉄道 | 陸運業 | 2.85% | | |
| 6 | 日産自動車 | 輸送用機器 | 2.65% | | |
| 7 | 住友商事 | 卸売業 | 2.60% | | |
| 8 | KDDI | 情報·通信業 | 2.60% | | |
| 9 | 三井物産 | 卸売業 | 2.47% | | |
| 10 | 伊藤忠商事 | 卸売業 | 2.41% | | |
| | 合計 | | | | |
| | 組入銘柄数 | | 133銘柄 | | |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

<u>当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針</u>

投資信託の騰落率は前月末比 + 6.18%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比 + 7.03%となりました。

当月の日本株式市場は、市場全体に対し比較的堅調であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した「Tハードウエアおよび機械を少なめに保有したいたことはプラスに寄与しましたが、上昇した不動産を少なめに保有したいたことや下落した総合商社を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落したファナッ ク(6954)を保有していなかったことや上昇した三井住友FG(8316)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した伊藤忠商事(8001)および日産自動車(7 201)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個 別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- 資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は -切責任を負いません。

【投資信託名】

ヘッジを行います。

【委託会社】

【運用方針】

利用する投資信託について

アクサ ローゼンバーグ·米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されてい

ると判断される「割安株」(バリュー株)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを

中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数²

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

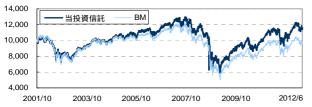
・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

アクサ ローゼンバーグ·米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2012年6月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

当場答信託の職落家

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| 投資信託 | 1.17% | 4.88% | 6.92% | 4.01% | 46.35% | 15.50% |
| BM | 1.17% | 5.37% | 5.03% | 1.20% | 41.89% | 2.24% |
| 差 | 0.01% | 0.48% | 1.89% | 2.81% | 4.46% | 17.74% |

マザーファンド受益証券の詳細情報

| | セクター別愽队几乎 | | | | | |
|----|---------------|---------|--|--|--|--|
| | セクター | マザーファンド | | | | |
| 1 | ソフトウェア・サービス | 9.71% | | | | |
| 2 | エネルギー | 9.65% | | | | |
| 3 | 医薬品バイオテクノ・ライフ | 9.37% | | | | |
| 4 | テクノロジー・ハードウェア | 7.59% | | | | |
| 5 | 小売 | 7.25% | | | | |
| 6 | 資本財 | 6.63% | | | | |
| 7 | 保険 | 6.50% | | | | |
| 8 | ヘルスケア機器・サービス | 6.33% | | | | |
| 9 | その他業種 | 36.09% | | | | |
| 10 | 現金等 | 0.89% | | | | |
| | 合計 | 100.00% | | | | |

組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 国名 | セクター | マザーファンド | | |
|----|---------------------------------|------|---------------|---------|--|--|
| 1 | APPLE INC | アメリカ | テクノロジー・ハードウェア | 5.21% | | |
| 2 | INTL BUSINESS MACHINES CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.71% | | |
| 3 | MICROSOFT CORP | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 2.68% | | |
| 4 | EXXON MOBIL CORPORATION | アメリカ | エネルギー | 2.66% | | |
| 5 | CHEVRON CORP | アメリカ | エネルギー | 2.60% | | |
| 6 | PFIZER INC | アメリカ | 医薬品パイオテクノ・ライフ | 2.37% | | |
| 7 | PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC | アメリカ | 食品・飲料・タバコ | 2.24% | | |
| 8 | INTEL CORP | アメリカ | 半導体·半導体製造装置 | 1.91% | | |
| 9 | MERCK & CO.INC | アメリカ | 医薬品パイオテクノ・ライフ | 1.82% | | |
| 10 | TJX COMPANIES INC | アメリカ | 小売 | 1.35% | | |
| | 合計 | | | | | |
| | 組入銘材 | 丙数 | | 213銘柄 | | |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 + 1.17%となりました。一方、ベンチマークである5&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前月末比 . 17%となりました

当月の米国株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託はこれらの銘柄をベンチマークに対して多めに保有していたことはブラスに寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した保険およびコンピューターを多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、下落した自動車および食品を少なめに保有していたことはブラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、上昇した食品のConstellation Brandsおよび医薬品のMerckを多めに保有していたことはブラスに寄与しましたが、下落した小売のBed Bath & Beyondおよび小売のMacysを多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務

諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アブローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/life/

6

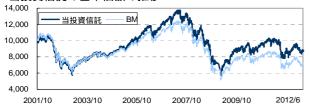
特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに - 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は 一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2012年6月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(パリュー株)を選別してボートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の職落率

| | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| 投資信託 | 2.40% | 5.24% | 1.66% | 10.72% | 17.52% | 12.55% |
| BM | 1.92% | 7.64% | 1.74% | 13.48% | 7.93% | 29.30% |
| 差 | 0.48% | 2.40% | 3.40% | 2.76% | 9.59% | 16.75% |

マザーファンド受益証券の詳細情報 国別構成比率

| | <u> </u> | | | | | | |
|----|----------|---------|--|--|--|--|--|
| | 国名 | マザーファンド | | | | | |
| 1 | イギリス | 30.98% | | | | | |
| 2 | フランス | 13.55% | | | | | |
| 3 | スイス | 12.96% | | | | | |
| 4 | ドイツ | 11.23% | | | | | |
| 5 | オランダ | 8.29% | | | | | |
| 6 | スウェーデン | 5.68% | | | | | |
| 7 | スペイン | 3.33% | | | | | |
| 8 | イタリア | 2.51% | | | | | |
| 9 | その他の国 | 9.32% | | | | | |
| 10 | 現金等 | 2.16% | | | | | |
| | 合計 | 100.00% | | | | | |
| | | | | | | | |

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数で (為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

セクター別構成比率

| | セクター | マザーファンド |
|----|----------------|---------|
| 1 | 食品・飲料・タバコ | 13.12% |
| 2 | エネルギー | 11.46% |
| 3 | 医薬品・バイオテクノ・ライフ | 10.39% |
| 4 | 素材 | 8.47% |
| 5 | 資本財 | 8.08% |
| 6 | 銀行 | 7.68% |
| 7 | 電気通信サービス | 6.42% |
| 8 | 公益事業 | 5.48% |
| 9 | その他業種 | 26.74% |
| 10 | 現金等 | 2.16% |
| | 合計 | 100.00% |

組入上位10銘柄

| | WEY (II . 0 2 H II) | | | | | | | |
|----|--|------|----------------|---------|--|--|--|--|
| | 銘柄 | 国名 | セクター | マザーファンド | | | | |
| 1 | NESTLE SA-REGISTERED | スイス | 食品・飲料・タバコ | 3.53% | | | | |
| 2 | HSBC HOLDINGS PLC | イギリス | 銀行 | 2.50% | | | | |
| 3 | BP PLC | イギリス | エネルギー | 2.46% | | | | |
| 4 | ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS | オランダ | エネルギー | 2.39% | | | | |
| 5 | SANOFI | フランス | 医薬品・パイオテクノ・ライフ | 2.02% | | | | |
| 6 | VODAFONE GROUP PLC | イギリス | 電気通信サービス | 1.90% | | | | |
| 7 | ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS | オランダ | エネルギー | 1.80% | | | | |
| 8 | NOVARTIS AG-REG SHS | スイス | 医薬品・パイオテクノ・ライフ | 1.72% | | | | |
| 9 | ROCHE HOLDING AG-GENUSSS | スイス | 医薬品・パイオテクノ・ライフ | 1.61% | | | | |
| 10 | ANHEUSER-BUSCH INBEV NV | ベルギー | 食品・飲料・タバコ | 1.60% | | | | |
| | 合計 | | | | | | | |
| | 組入銘材 | 丙数 | • | 262銘柄 | | | | |
| | 1.43.45 (2.1) 10.45 (2.1) (39.45 (2.1) (3.1) (3.1) | | | | | | | |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 + 2 . 40%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比 + 1 9.2%となりました。

当月の欧州株式市場は、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはブラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別ではベンチマーク対比で、下落した自動車および石油メジャーを多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した保険を多めに保有していたことや下落した金属を少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄ではベンチマーク対比で、下落した自動車のVolkswagen(ドイツ)および素材のLanxess(ドイツ)を多めに保有していたことはマイナスに寄与しましたが、上昇した電気通信サービスのTelefonica(スペイン)および飲料のAnheuser - Busch(ベルギー)を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポート フォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務 諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

特別勘定の月次運用レポート (2012年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに 当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、 利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は 一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2012年6月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10.000として指数化しています。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。 外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券 マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

当投資信託の騰落率

| ,_ | 過去 1ヵ月 | 過去 3ヵ月 | 過去 6ヵ月 | 過去 1年 | 過去 3年 | 設定来 |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|--------|
| 投資信託 | 0.10% | 0.65% | 1.13% | 1.37% | 3.69% | 14.51% |
| BM | 0.11% | 0.72% | 1.11% | 1.75% | 5.22% | 19.46% |
| 差 | 0.02% | 0.07% | 0.03% | 0.38% | 1.54% | 4.95% |

マザーファンド受益証券の詳細情報 資産構成

| 只注"舟ル | | |
|---------|-----------|---------|
| | 修正デュレーション | マザーファンド |
| 公社債 | 4.49 年 | 99.33% |
| 国債 | 4.88 年 | 71.50% |
| 地方債 | 0.00 年 | 0.00% |
| 特殊債·財投債 | 2.93 年 | 6.64% |
| 金融債 | 2.39 年 | 1.08% |
| 社債等 | 3.71 年 | 20.12% |
| その他 | 0.00 年 | 0.00% |
| 短期資産等* | 0.00 年 | 0.67% |
| 合計 | 4.46 年 | 100.00% |

* 債券先物を含みます。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合*4、中期3年以上7年未満)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する

債券価格の変動率を示します。

公社債の格付別構成比率

| 格付区分 | マザーファンド |
|------------|---------|
| AAA | 0.00% |
| A A | 86.50% |
| Α | 13.50% |
| BBB | 0.00% |
| BB以下(無格付含) | 0.00% |
| 合計 | 100.00% |

格付基準

海外格付機関の格付を優先します。 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、 国内格付機関の格付けを採用します。

組入上位10銘柄

| | 銘柄 | 国名 | クーポン | 償還日 | 格 | 付 | マザ - ファンド | |
|----|------------------|----------|--------|-------------|--------|-----|-----------|--|
| | ያ ያ | | ケーホン | 貝恩口 | ムーディーズ | S&P | (9))) | |
| 1 | 第277回利付国債(10年) | 日本 | 1.600% | 2016年3月20日 | Aa3 | AA- | 6.44% | |
| 2 | 第93回利付国債(5年) | 日本 | 0.500% | 2015年12月20日 | Aa3 | AA- | 4.31% | |
| 3 | 第272回利付国債(10年) | 日本 | 1.400% | 2015年9月20日 | Aa3 | AA- | 3.60% | |
| 4 | 第273回利付国債(10年) | 日本 | 1.500% | 2015年9月20日 | Aa3 | AA- | 3.50% | |
| 5 | 第295回利付国債(10年) | 日本 | 1.500% | 2018年6月20日 | Aa3 | AA- | 3.41% | |
| 6 | 第298回利付国債(10年) | 日本 | 1.300% | 2018年12月20日 | Aa3 | AA- | 3.37% | |
| 7 | 第4回 日本政策投資銀行 | 日本 | 1.158% | 2014年6月20日 | Aa3 | A+ | 3.24% | |
| 8 | 第95回利付国債(5年) | 日本 | 0.600% | 2016年3月20日 | Aa3 | AA- | 3.24% | |
| 9 | 第280回利付国債(10年) | 日本 | 1.900% | 2016年6月20日 | Aa3 | AA- | 3.12% | |
| 10 | 第313回利付国債(10年) | 日本 | 1.300% | 2021年3月20日 | Aa3 | AA- | 3.08% | |
| | 合計 | | | | | | | |
| | | 組入銘柄 | 数 | | | | 51銘柄 | |
| | 上記銘板け 推奨またけ取得の由込 | 入みの勧誘を行う | うものでけ | ありません. | | | | |

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

ポートフォリオの状況

| | マザーファンド |
|---------|---------|
| 平均複利利回り | 0.39% |
| 平均クーポン | 1.25% |
| 平均残存期間 | 4.62 |

「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有 した場合の複利利回りを加重平均したものです。 あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、 売却や償還による差損等を考慮したものでは ありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比 + 0.10%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前月末比 + 0.11%となりました。

6月は世界各国で景気の減速がみられました。日本経済においても、5月の景気ウォッチャー調査は景気現状判断DIが47.2に低下して2ヶ月ぶりに水準となる50を下回った ほか、商工中金による中小企業の景況感を示す景気判断指数も6月は46.2と3ヶ月連続の低下となりました。5月の貿易統計によれば、輸出総額(前年比)は東日本大震災で 落ち込んだ昨年実績の反動で10%増となったものの、輸出が回復基調にあるとはいえず、貿易収支は3ヶ月連続の赤字となりました。震災復興需要や政府の個人消費促進策 の効果も勢いが弱まりつつあり、日本経済は減速傾向となっています。債券市場では、当月の新発10年国債利回りは前月とかわらない0.83%で終りました。当月の当投資信 託ベンチマークに対して若干のマイナスとなりました。当月は欧州周辺国のサムライ債を売却し、その代金で国債を買い増しました。

今後については、引き続き国債利回りは低位のまま推移するものと委託会社はみています。また、短期国債の利回りが非常に低い水準にあることから、年限の長い債券を選好する投資家が多いとみられ、その結果イールドカーブは更に平坦化するだろうとみています。今後の当投資信託の方針としては、イールドカーブ戦略は平坦化を見込む戦略を維持し、デュレーション戦略はベンチマークと同等の水準とする予定です。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサーピスセンター

Tel 0120-778-133

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。 東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下㈱東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。 ㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&ブアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&ブアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。 また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、 委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している。日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、 独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて

市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。<u>場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。</u>なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】 アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

| 契約日 | | | 終 | ·身型 | 有 | 期型 | 契約月別 | 年複利 |
|-------|-----|----|--------------|----------------|--------------|----------------|-------------|-------|
| | | | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 運用実績 (%) | (%) |
| 平成12年 | 8月 | 1日 | 1,000 | -553 | - | - | -14.31 | -1.29 |
| 平成12年 | 9月 | 1日 | 1,000 | -560 | - | - | -15.58 | -1.42 |
| 平成12年 | 10月 | 1日 | 1,000 | -542 | - | - | -13.17 | -1.19 |
| 平成12年 | 11月 | 1日 | 1,000 | -526 | - | - | -11.20 | -1.01 |
| 平成12年 | 12月 | 1日 | 1,000 | -509 | - | - | -8.93 | -0.80 |
| 平成13年 | 1月 | 1日 | 1,000 | -493 | - | - | -6.92 | -0.62 |
| 平成13年 | 2月 | 1日 | 1,000 | -502 | - | - | -8.62 | -0.79 |
| 平成13年 | 3月 | 1日 | 1,000 | -474 | - | - | -4.72 | -0.43 |
| 平成13年 | 4月 | 1日 | 1,000 | -457 | - | - | -2.58 | -0.23 |
| 平成13年 | 5月 | 1日 | 1,000 | -475 | - | - | -5.68 | -0.52 |
| 平成13年 | 6月 | 1日 | 1,000 | -469 | - | - | -5.10 | -0.47 |
| 平成13年 | 7月 | 1日 | 1,000 | -458 | - | - | -3.79 | -0.35 |
| 平成13年 | 8月 | 1日 | 1,000 | -436 | - | - | -0.95 | -0.09 |
| 平成13年 | 9月 | 1日 | 1,000 | -404 | - | - | 3.30 | 0.30 |
| 平成13年 | 10月 | 1日 | 1,000 | -366 | - | - | 8.59 | 0.77 |
| 平成13年 | 11月 | 1日 | 1,000 | -378 | - | - | 6.36 | 0.58 |
| 平成13年 | 12月 | 1日 | 1,000 | -382 | - | ı | 5.37 | 0.50 |
| 平成14年 | 1月 | 1日 | 1,000 | -382 | - | • | 5.04 | 0.47 |
| 平成14年 | 2月 | 1日 | 1,000 | -359 | - | - | 7.92 | 0.73 |
| 平成14年 | 3月 | 1日 | 1,000 | -365 | - | - | 6.71 | 0.63 |
| 平成14年 | 4月 | 1日 | 1,000 | -375 | - | 1 | 4.77 | 0.46 |
| 平成14年 | 5月 | 1日 | 1,000 | -370 | 1 | ı | 5.23 | 0.50 |
| 平成14年 | 6月 | 1日 | 1,000 | -371 | - | 1 | 4.63 | 0.45 |
| 平成14年 | 7月 | 1日 | 1,000 | -340 | 1,000 | -285 | 8.67 | 0.84 |
| 平成14年 | 8月 | 1日 | 1,000 | -312 | 1,000 | -257 | 12.45 | 1.19 |
| 平成14年 | 9月 | 1日 | 1,000 | -309 | 1,000 | -254 | 12.44 | 1.20 |
| 平成14年 | 10月 | 1日 | 1,000 | -285 | 1,000 | -229 | 15.64 | 1.50 |
| 平成14年 | 11月 | 1日 | 1,000 | -282 | | | 15.62 | 1.51 |
| 平成14年 | 12月 | 1日 | 1,000 | -293 | | | 13.62 | 1.34 |
| 平成15年 | 1月 | 1日 | 1,000 | -270 | | | 16.60 | 1.63 |
| 平成15年 | 2月 | 1日 | 1,000 | -248 | | | 19.39 | 1.90 |
| 平成15年 | 3月 | 1日 | 1,000 | -242 | | | 19.85 | 1.96 |

| 契約日 | | | 終身型 | | 有期型 | | 契約月別 | 年複利 |
|----------|------|----|--------------|----------------|--------------|----------------|----------|-------|
| | | | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 保険金額 (万円) | 変動保険金額 (万円) | 運用実績 (%) | (%) |
| 平成15年 4 | 月 1 | 1日 | 1,000 | -238 | | | 20.00 | 1.99 |
| 平成15年 5 | 5月 1 | 1日 | 1,000 | -251 | | | 17.55 | 1.78 |
| 平成15年 6 | 3月 1 | 1日 | 1,000 | -262 | | | 15.53 | 1.60 |
| 平成15年 7 | '月 ′ | 1日 | 1,000 | -275 | | | 13.10 | 1.38 |
| 平成15年 8 | 8月 1 | 1日 | 1,000 | -282 | | | 11.67 | 1.25 |
| 平成15年 9 | 月 1 | 1日 | 1,000 | -288 | | | 10.43 | 1.13 |
| 平成15年 10 |)月 ′ | 1日 | 1,000 | -289 | | | 9.94 | 1.09 |
| 平成15年 11 | 月~ | 1日 | 1,000 | -296 | | | 8.43 | 0.94 |
| 平成15年 12 | 2月 1 | 1日 | 1,000 | -292 | | | 8.61 | 0.97 |
| 平成16年 1 | 月 1 | 1日 | 1,000 | -300 | | | 7.14 | 0.81 |
| 平成16年 2 | 2月 1 | 1日 | 1,000 | -308 | | | 5.61 | 0.65 |
| 平成16年 3 | 3月 ′ | 1日 | 1,000 | -316 | | | 4.12 | 0.49 |
| 平成16年 4 | 月 1 | 1日 | 1,000 | -325 | | | 2.45 | 0.29 |
| 平成16年 5 | 月 ′ | 1日 | 1,000 | -322 | | | 2.41 | 0.29 |
| 平成16年 6 | 月 1 | 1日 | 1,000 | -313 | | | 3.30 | 0.40 |
| 平成16年 7 | '月 ′ | 1日 | 1,000 | -321 | | | 1.91 | 0.24 |
| 平成16年 8 | 8月 1 | 1日 | 1,000 | -306 | | | 3.57 | 0.44 |
| 平成16年 9 | 月 1 | 1日 | 1,000 | -305 | | | 3.36 | 0.42 |
| 平成16年 10 |)月 1 | 1日 | 1,000 | -303 | | | 3.20 | 0.41 |
| 平成16年 11 | 月 | 1日 | 1,000 | -299 | | | 3.42 | 0.44 |
| 平成16年 12 | | 1日 | 1,000 | -306 | | | 2.06 | 0.27 |
| 平成17年 1 | 月(| 1日 | 1,000 | -316 | | | 0.36 | 0.05 |
| 平成17年 2 | 2月 1 | 1日 | 1,000 | -314 | | | 0.25 | 0.03 |
| 平成17年 3 | 8月 1 | 1日 | 1,000 | -322 | | | -1.33 | -0.18 |

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険 金額を表示しています。

- (3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。
- (4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。
- (5) 有期型は平成14年10月31日で販売終了しています。

⁽²⁾ 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成24年6月末までの運用実績を示したものです。 なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。